※令和４年度以降入学生用

学校番号	403

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	文系数学演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	未使用						
副教材等	例題から学ぶ　数学Ⅰ＋A　（実教出版） 例題から学ぶ　数学B＋C　（実教出版） 例題から学ぶ　数学Ⅱ　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

① 問題用のノートを用意しましょう。
② 問題集の問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをし間違いを分析しましょう。答え合わせは自分の弱点を知り、分析は自分の弱点を強みにしていく大切なものです。
③ 家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まで丁寧に取り組みましょう。
④ 授業中のノートについては、また、授業のポイントや自身で気付いたことやクラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。

2　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
① 数列についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
② 数列の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。
③ 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数列についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関りについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数列の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	数列(1)	数列とその項 等差数列 等比数列	a: 数列、等差数列、等比数列の定義の意味を理解し，一般項や和を求めることができる。 b: 数列、等差数列、等比数列の和の最大，最小などについて考察することができる。 c: 数列、等差数列、等比数列のそれぞれについて考察しようとする。	定期考査 授業内テスト	定期考査 パフォーマンス課題	課題提出 ノート パフォーマンス課題
	数列(2)	数列の和 階差数列 いろいろな数列の和	a: 和の記号Σ、階差数列の意味を理解し，具体的に一般項を求めることができる。 b: 和Σ、階差数列、等差数列と等比数列の積で表される数列の和、群数列について，考察することができる。 c: 和の記号Σ、階差数列のそれぞれについて考察しようとする。			
	数列(3)	漸化式 数学的帰納法	a: 漸化式、数学的帰納法の仕組みを理解し、一般項の導出や証明ができる。 b: 漸化式を，おき換えなどを用いて既知の漸化式に帰着して考えることができる。 c: 一般項による方法以外にも数列の項を定める方法があることに興味をもって考察しようとする。			
2学期	数学Ⅰ 数学Ａ	方程式、不等式、2次関数、三角比、統計、集合と命題 場合の数、確率、図形の性質、整数の性質	a: 各分野について★の問題を理解している。 b: 各分野について★★、★★★の問題を考察することができる。 c: 各分野について、★の問題を考察しようとする。	定期考査 授業内テスト	定期考査 パフォーマンス課題	課題提出 ノート パフォーマンス課題
	数学Ⅱ	等式、高次方程式、図形と方程式、三角関数、指数関数、対数関数、微分、積分				
3学期	数学Ｃ	ベクトル、複素数平面、2次曲線	a: 各分野について★の問題を理解している。 b: 各分野について★★、★★★の問題を考察することができる。 c: 各分野について、★の問題を考察しようとする。	定期考査 授業内テスト	定期考査 パフォーマンス課題	課題提出 ノート パフォーマンス課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度